

鎌倉文学館指定管理業務 実績評価（令和元年度第4四半期）

1 利用の承認等に関する業務

(1) 来館者数の動向

1月から3月までの来館者数は5,377人で、昨年度の第4四半期と比較して、6,295人、約54%の減となった。

(2) 分析

2020年1月頃から国内でも、新型コロナウイルスの感染者が続出し始め、世間全体が外出を控える動きがあったこと、また、感染拡大に伴い、さらなる感染拡大を防止するため、文学館を2月28日から臨時休館したことで来館者数に影響が及んだと思われる。

2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

(1) 施設・設備

ア 設備機器の保守点検について計画どおり行われた。

イ バルコニー手摺、玄関脇手摺、水飲み場鉄骨塗装が行われた。

ウ 屋内消火栓ホース、非常用照明器具交換が行われた。

エ 1階特別展示室前排気ファン用点検口の修繕が行われた。

オ ロッカー室排気ファン取替修繕が行われた。

カ 市修繕として、バラ園への南面通路の舗装業務を行った。

キ 市修繕として、前庭正面階段、前庭東側階段の手摺設置業務を行った。

ク 市修繕として、前庭正面階段土間工事及び石張りを行った。

ケ 市修繕として、庭園斜路の舗装を行った。

コ 市修繕として、東側万年堀の撤去及びフェンスの設置を行った。

サ 市修繕として、2階廊下及び講座室の絨毯の貼り替えを行った。

(2) 文学館資料

ア 文学館資料の特別利用について適切な事務処理によって行われている。(7件)

3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

(1) 展覧会

概ね事業計画どおり、収蔵品展、特別展及び常設展を開催したが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館により中止となった事業があった。

ア 収蔵品展「作家と歩く鎌倉 その4 長谷・稲村ガ崎方面」(2月28日～4月12日臨時休館により中止)

イ 常設展「鎌倉ゆかりの文学」(2月28日～3月31日臨時休館により中止)

ウ ミニ特集 生誕130年 村松梢風 (2月28日～3月7日臨時休館により中止)

エ ミニ特集 関東大震災をこえて～久米正雄 (3月8日～4月12日臨時休館により中止)

(2) 普及事業

ア 例年好評であるバレンタイン特別企画「愛は言葉だ！文豪のハートにふれるバレンタイン&ホワイトデー」を例年より会期を延長し開催する予定であったが、臨時休館に伴い9日間の延長となった。期間中は、調布市武者小路実篤記念館と連携し、「実篤チョコ」の特別販売を行った。

イ 3月に予定していた講座や文学散歩等が、臨時休館に伴い複数の事業が中止となったことは非常に残念であった。

(3) その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

ア 市内在住の童話作家 角野栄子さんが自身の作品を朗読する「角野栄子さんのおはなし会」を2月、3月に各1回の開催を予定していたが臨時休館に伴い中止となった。

イ 鎌倉はせのわ「梅まちめぐり」や社会福祉協議会が開催する講座「鎌倉ゆかりの文学」に講師を派遣する等、地域と連携しながら文学に親しむ機会を提供した。

4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

(1) 資料の補修を適宜実施した。

5 その他市長が定める業務

(1) 文学館資料の調査及び研究

概ね事業計画どおり、収蔵品展、特別展及び常設展を開催したが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館により、中止となった事業があった。

(2) 事務処理

ア 例月の指定管理業務報告書等が期日までに提出された。

(1月分:2月14日、2月分:3月12日、3月分:4月14日)

イ 展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。

ウ 市広報に展覧会や関連イベントの情報を掲載し、市民への周知を行った。

(3) その他

ア SNSを活用し、タイムリーな情報の発信を行った。

イ メディア対応を積極的に行った。

ウ 近隣保育園・幼稚園の受入を行った。

エ 学校や各種団体の視察等に対応した。

6 全体評価

- (1) 第4四半期の観覧者数(5,377人)は、平成30年度(11,672人)と比較して、6,295人・約54%の減であった。また、前指定管理期間の平均値(11,449人)と比較して6,072人・約53%の減であった。新型コロナウイルスの感染拡大により、第4四半期から外出控えの傾向が強くな

り、観光客だけでなく、近隣からの来館者も減少したこと、さらに2月末から感染拡大防止のため臨時休館したこと等により来館者数が減少したと思われる。

- (2) 第3四半期から引続き、12月21日から4月12日までの予定で収蔵品展「作家と歩く鎌倉 その4 長谷・稲村ガ崎方面」を開催する予定であったが、臨時休館により2月27日までの開催となり、観覧者数は5,377人であった。上記のとおり、新型コロナウイルスの影響もあるが、やや減少傾向にあるため、来館者の関心を引く展示の工夫をさらに期待したい。
- (3) 臨時休館中に、外出自粛をしている人々をターゲットとして、家でも文学に関心を持ち楽しめるよう、文学館にまつわるクイズを行う等、再開館後に来館者を得るための工夫を行い、発信していた点は評価し得るものである。今後も、TwitterやFacebookなどのSNSを活用する随時情報発信や、リーフレット・ポスターなどによる効果的な広報活動を積極的に続けられたい。
- (4) 施設・設備管理について、事業計画に基づき適切に行われている。施設、設備ともに老朽化が進む中、日頃から適宜点検に努め、重大な事態を未然に防いでいる。今後も修繕箇所を予め把握し優先順位をつけて修繕を行っていくよう留意されたい。

鎌倉文学館 令和元年度 第4四半期 判定評価

評価項目	配点	第3四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができているか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%